

報道関係各位【ご案内】

2011年6月20日

社団法人 日本分析機器工業会

分析展 2011/科学機器展 2011 合同展 事前登録受付を開始します  
——産業復興のマザーツール展——

社団法人 日本分析機器工業会(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-10-1 電話 03-3292-0642 会長 服部 重彦=(株)島津製作所代表取締役会長)と日本科学機器団体連合会(〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-8-5 電話 03-3661-5131 会長 矢澤英人(株)ダルトン 代表取締役社長)が主催する分析展 2011/科学機器展 2011 合同展は9月7日(水)から9月9日(金)まで、幕張メッセ5、6、7、8の4ホールを使用して開催します。

キャッチフレーズは「来て、見て、わかる 確かな技術」。(10時から17時、入場無料)この合同展の事前入場登録が7月1日(金)からWEB上で開始されます(<http://www.jaimasis.jp/>)。スムーズな入場をはかるため、本年もこのWEB事前入場登録を奨励しています。

8月27日(土)までに事前入場登録をいただきますと、バーコード付きの入場証とオフィシャルガイドブックがお手元に届き、ご来場時には、その入場証を受付で読み込むだけの簡単な手続きで入場できます。また、期日までに事前登録されたご来場者のみの特典として、早期登録者限定の抽選会(1等1万円ギフト券)と図書券500円分が当たる抽選会に参加できるWチャンスとなりますので、ぜひ、8月27日以前に事前登録を行って、ご来場いただきますようお願い致します。

ご好評の JR 幕張本郷駅から海浜幕張駅経由、会場までの無料シャトルバスも増便し運行、さらに、今回は被災地復興支援策のひとつとして鹿島地区からの無料往復バス(鹿島発:9:00、11:30、会場発:15:00、17:20 予定)の4便を計画し、ご来場者の利便性向上をはかります。

今回の合同展(第2回)の規模は、本日現在1267小間390出展社・機関です。併催する新技術説明会は313テーマと昨年より増加し、出展各社の大いなる意気込みが感じられます。理化学機器から物質の構造解析装置まで、文字通りの分析・科学機器/技術の入り口から出口までの最新情報が発信されます。さらに国際会議場ではPittcon Committee主催のU.Sシンポジウムなど23団体46テーマのコンファレンスが開催されます。展示会場内でも理科教育セミナー、環境実験「水の循環」、やさしい科学機器入門の講座が開催されます。

本合同展 2011 は開催期間が夏季最盛期のため、今夏の電力不足対策として、15%節電を目指し、照明・空調の計画運転を実施予定ですので、調整しやすい服装、軽装でのご来場をお薦めしています。

分析展 2011/科学機器展 2011 合同展は、分析計測に関するアジア最大規模の展示会であり、最新の製品情報のみならず、最先端の学術的、技術的な情報も提示される世界有数の総合展です。震災後の産業・経済復興を目指し、主催者としてご来場者にも、出展企業にもご満足いただけるよう努力してまいります。

**【お問い合わせ先】**

● (社)日本分析機器工業会

合同展 2011 事務局 事務局長 濱崎(はまざき)/小川(おがわ)

電話(03)3292-0642 まで、ご遠慮なくお問い合わせください。